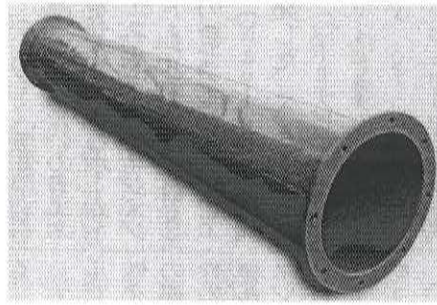


引き合い増勢基調

流浸工業

樹脂コーティング鋼管「リユーコート」



流動浸漬法によるコーティング鋼管のパイオニア、流浸工業(社長)大

流動浸漬法は、流動浸漬用パウダーを入れ、槽の下部に多孔質の隔壁を設け、ここに圧力をかけた空気を注入、圧力で隔壁上部の粉体を均一に浮かす。この流動層に加熱した基材を浸

久保幸廣氏、本社・大阪府堺市美原区大保225)が自社ブランドで展開する「リユーコート」が大都市圏での大型施設、再開発プロジェクトに相次いで採用され、その存在感は上昇カーブを描いている。並行して大手総合設備会社や商社からの引き合いも増加傾向を示している。1日から3日間、東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)で開かれた第46回管工機材・設備総合展でも「リユーコート」ブランド各製品は大きな反響を呼んだ。需要の裾野は着実に広がりを見せている。

漬することでピンホールのない均一な塗膜(膜厚200μ以上)を形成する技術。樹脂コーティングの素材は、特性が平均的に優れ、耐水性、消音特性にも優れるナイロン、耐溶性性に優れるEVOH、良好な諸特性を兼ね備える塩ビ、耐薬品性、防錆力に特徴を持つポリエチレンなどがあり、注文内容に応じて樹脂の特性を考慮し、適用

脂の特性を考慮し、適用する。流浸工業が手がけるのは、ナイロンII、塩ビ、EVOH、ポリエチレンなどの樹脂を流動浸漬法による鋼管の内外面にコーティングする自社ブランド「リユーコート」と同工法による1・6tスパイラル鋼管に塩ビコーティングを施す「リユーコートLight」及び

1・6tのダクトに塩ビコーティングを施す「リユーコートダクト」。塩ビ樹脂、EVOH樹脂はパウダーの製造から自社で行うなど、徹底した品質管理の下で製品の安定供給を行っている。リユーコートLightは板厚6tの薄型フラッシュの使用により、大幅な軽量化を実現、施工のスピードアップを実現す

る。腐食に強く耐候性にも優れ、臭突管や排気管などの配管腐食対策に適する。大型施設や再開発関連案件での採用が相次いでいるのもこのタイプ。良好な施工性を備え、0.3MPaの気圧でも漏れが発生しない気密性を確保しているのも大きな特徴。口径150A~500Aまで加工可能。

リユーコートダクトは臭突管、排気管での使用が多い。150φ~500φまでの口径に対応する。同社では「引き合いは増勢基調。知名度が確実に上がってきているのを実感できるようになってきた」(関東事業部長・大久保秀俊氏)と手応えを話す。今後も一層の需要開拓に努める考えだ。